

2012年10月9日

世界の最先端化粧品技術を競う学会
第27回国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)世界大会にて
ポーラ化成工業が、3件の論文を発表します

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:東京都品川区、社長:岩崎泰夫)は、10月15日~18日に南アフリカ共和国のヨハネスブルクで開催される第27回国際化粧品技術者会連盟(以下IFSCC)世界大会において、口頭発表1件、ポスター発表2件の論文3件を発表します。

IFSCCは、世界47カ国・総会員数15000名以上が加盟しており、加盟者は年々増加しています。化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会であり、これまでの受賞内容は化粧品の最先端技術として応用・実用化され、化粧品市場の発展を支えてきました。世界大会(Congress)は、2年に一回、西暦偶数年に開催されます。

今回、ポーラ化成工業からは口頭発表1件、ポスター発表2件の合計3件を発表します。発表する内容は、今後ポーラ・オルビスグループの商品開発に応用されます。

口頭発表

【基礎研究】

【論文名】**英文名: Improvement of Chronological Skin Aging through Autophagy Regulation**

和文名: オートファジーによる皮膚生理老化の改善

発表者: ポーラ化成工業(株)肌科学研究部 皮膚科学研究室 田代 佳奈江

ポスター発表

【基礎研究】

【論文名】**英文名: Discovery of adrenomedullin as a new melanocyte-activating factor**

和文名: 新規メラノサイト活性化成分アドレノメジュリンの同定とそのメカニズム

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 本川智紀

【応用研究】

【論文名】 **英文名: Objective Evaluation of Our Aging Faces: An Integrated Approach through Spatial Frequency Analysis**

和文名: 老け顔の客観評価:空間周波数解析による統合的アプローチ

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 多田明弘

過去の受賞歴 過去5回受賞

2008年 IFSCC バルセロナ大会 最優秀賞 (基礎研究部門)

1998年 IFSCC カンヌ大会 最優秀賞

1996年 IFSCC シドニー大会 優秀賞

1994年 IFSCC ベネチア大会 最優秀賞

1986年 IFSCC バルセロナ大会 優秀賞

【本件に関するお問い合わせ先】 (株) ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR 室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543